

# 『臨床倫理研修』 研修会実施報告

日時 : 令和3年12月18日(土) 8:30~16:00  
対象者 : 看護管理者およびラダーⅢ~Ⅳを目指す者  
参加者数 : 対象者30名 一般参加者3名  
目標 : 改訂された倫理綱領を理解し、スタッフへの指導的役割を果たす

## <講師の紹介>

公益社団法人日本看護協会  
看護業務・医療安全課  
宮脇 英恵 先生



## <内容>



日本看護協会の宮脇英恵先生に「臨床倫理」の講義をして頂きました。最初に「倫理とは何か」について実際の倫理的問題事例を交えながら説明して下さいました。その中で、私たちが実施している看護行為全てに倫理的姿勢が伴っていることを話して下さいました。日常の中で倫理実践とは何かを考え、倫理は、日々の看護実践の中にあることをスタッフに伝え続けることが必要であることに気付かされました。次いで、令和3年3月に改訂された「看護職の倫理綱領」について、改定のポイントを入れながらわかりやすく説明して下さいました。

その後、「日々の看護実践の中で感じている倫理的課題」や「後輩指導の場面で難しく感じる場面について」をテーマにグループワークを行いました。4分割法を用いた症例検討の方法についてもご指導いただきました。グループワークを通して、各スタッフが日々の患者さんとの関わりの中で何が倫理的課題なのかに気づき関心を持つことが倫理的感受性を高めることにつながるということを学ぶことができました。また、一人で悩むのではなくカンファレンスを行い、みんなで議論することの大切さを学ぶことができました。今回の学びを活かし、看護職が抱える様々な倫理課題を一緒に考え、話し合える風土づくりを心がけていきたいと思っております。